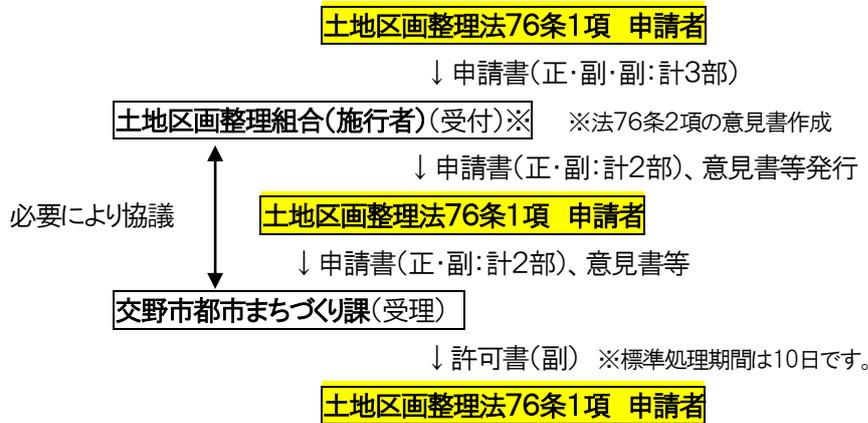


○土地区画整理法第76条第1項申請の手続き

交野市都市まちづくり課

1. 土地区画整理法第76条第1項申請フロー



2. 申請書、添付書類及びその記入方法について

1) 申請書

・基本事項

「申請年月日」: 施行者への受付日を記載。

「申請者住所、氏名」: 建築物を所有する者の住所、氏名を記載。

(土地所有者と建築主が違う場合等は、「土地使用承諾書」が必要)

「申請の位置」: 従前の土地の全ての登記上の所在、地番を記載。但し、保留地の場合は「○○土地区画整理事業地内(保留地)」と記載。

(街区画地): 土地区画整理施行後の「街区画地」番号を記載。

「事業の名称」: 土地区画整理事業名を記載。

「敷地面積」: 仮換地面積を記載。但し、一部使用の場合は「○○㎡の内××㎡」と記載。

・建築物関係

「建築物」: 「新築・増築・改築」の別を○で囲む。

「用途及び棟数」: 建築物の用途及び本申請地での棟数を併記する。(例、専用住宅 1棟)

「構造及び階数」: 建築物の構造及び階数を併記する。(例、木造 2階)

「建築面積」「延べ面積」: 建築面積、延べ面積を記載する。但し、改築・増築の場合は、欄内の左に既設の面積を記載し、右側に改築及び増築の面積を記載する。

・工作物関係

「工作物」: 「新設・増設・改設」の別を○で囲む。

「種別」: 「水道」「ガス」等と記載。工作物等が多数の場合は、別途、一覧表によること。

「構造」: 「塩ビ管」「鋼管」等と記載。工作物等が多数の場合は、別途、一覧表によること。

「工事面積」: 工作物等を設置するための工事面積を記載。但し、建築物等と同時に工作物等の工事を行う場合は、全ての工事面積を記載。

・土地の形質の変更関係

「工種」：「造成」「舗装」等を記載。

「概要」：造成ボリューム、舗装面積を記載。

・移転の容易でない物件の設置・たい積

「名称」：物件の名称を記載。

「概要」：設置面積、たい積ボリューム等を記載。

・その他

「工事予定期間」：本申請の工事等の完了予定期間を記載。

「連絡先氏名、電話」：申請者が直接手続きを行う場合は、申請者の連絡先を記載。また、代理申請を行う場合は、委任を受けた者の連絡先を記載。

2) 土地区画整理法第76条第2項の規定による意見書(施行者の意見書)

本申請の建築物等が事業に支障がないかどうかを判断し記載したもの。(施行者発行)

3) 委任状

代理人申請を行う場合に添付。

4) 仮換地指定通知書(調書、位置図及び指定図)

仮換地指定図等に辺長等の記載がない場合は、施行者が辺長等のわかる資料を添付。

※ 仮換地指定が完了していない場合は、別途協議とする。

5) 登記簿謄本又は抄本

登記住所と申請住所等が違う場合及び施行者に届けられている住所と申請住所が違う場合は、住所の沿革(住民票等)を添付する。

・申請地が保留地の場合

施行者との売買契約書等を添付。(位置図及び指定図、辺長等が記載されているもの)

6) 占用許可書

申請の建築物等の工事範囲が、公共施設等にかかる場合に添付。(他の宅地にかかる場合は、土地使用承諾書が必要)

7) 土地利用承諾書

申請人と土地所有者が異なる場合に添付。(共有地の場合で、共有人の一人が申請した場合は、残りの共有人の承諾書が必要。)

8)添付図面等

①建築物

図面 位置図:当該土地区画整理事業の設計図等を使用する。

配置図:対象土地の面積及び辺長を記載し、面積計算根拠(求積表等)を記載すること。(仮換地図と整合すること。)一部使用の場合は、使用する面積及び辺長を記載し、面積計算根拠(求積表等)を記載する。土地の境界については、朱線を入れ、明示する。接道する道路幅員及び道路名を記載する。

平面図:各階の平面図を添付する。(配置図をベースに作成すること。)

断面図:建築物の形状の断面図を添付する。

立面図:4面全てを添付する。

切盛図:平面及び断面図を添付。(配置図をベースに作成すること。)

切土部を黄色で着色し、盛土部を赤色で着色する。(切土、盛土がある場合のみ添付)

書類 建築面積及び延べ面積計算書:建築基準法による計算方法とする。

切土量、盛土量計算書:切盛図と整合すること。

工作物一覧表:建築にともなう地下埋設物、垣、柵等を一覧表にし、添付すること。

(擁壁等がある場合は、構造図を添付)

その他:特にその申請に必要な図書

②工作物等

図面 位置図:当該土地区画整理事業の設計図等を使用する。

配置図:①建築物の配置図と同様

断面図・構造図:工作物の平均的な断面延長等がわかるものとする。

書類 工作物一覧表

③土地の形質の変更(舗装等含む)

図面 位置図:当該土地区画整理事業の設計図等を使用する。

現況平面及び土地の形質の変更後のわかる平面図及び断面図。

切土及び盛土がわかる図面

舗装等面積求積図(舗装等の場合)

書類 切土量及び盛土量の計算書

舗装等面積計算書

④移動の容易でない物件の設置及びたい積

図面 位置図:当該土地区画整理事業の設計図等を使用する。

たい積物等の位置図・断面図 : 申請地内での位置を表したもので、たい積物等を設置する
大きさ(辺長及び面積等)を表したもの。

書類 たい積物等種類がわかる図書

たい積物等の容量計算書

3. 許可申請の軽微な変更の手続き等について

軽微な変更については、施行者、交野市と十分協議を行った上、手続きを進めること。

1) 軽微な変更の範囲

- ①建築物：基本的な構造の変更はなく、バルコニー等の面積の変更等による建築面積及び延べ面積の変更となった場合。
- ②工作物等：工作物の面積及び延長等が、概ね2割の増減となった場合。
- ③土地の形質の変更：造成面積、造成ボリューム及び舗装面積等が、概ね2割の増減となった場合。
- ④移動の容易でない物件の設置及びたい積：物件の設置及びたい積の面積及びボリュームが、概ね2割の増減となった場合。

2) 軽微な変更の手続き

①必要図書

- ・許可申請書の写しに変更箇所を赤書き修正したもの。
- ・変更前と変更後が明確にわかる図面等(詳細については、協議による。)

②手続き

「組合施行の申請フロー」と同様に、上記の必要図書に施行者が受付印等を押印した書類を提出する。

4. 許可申請書の取消について

現在の許可申請書に係わる建築物の行為を事情により取り止める場合又は建築物等の大幅な計画変更がある場合等について「許可の取消」を行うことが可能である。

1) 必要書類

- ①取消申請書
- ②現在の許可申請書

2) 手続き

「土地区画整理法第76条第1項申請フロー」と同様に、上記の必要図書に施行者が受付印等を押印した書類を提出する。

5. 許可申請書の記入例について（戸建て住宅を新築する場合）

許可申請書の記入例

土地区画整理法第76条第1項の規定による許可申請書（正）

土地区画整理法第76条第1項の規定による許可申請書（正）

平成 ○年 ×月 △日

交野市長

申請者 住所 **交野市○○○○丁目○番○**
氏名 ○○ ○○

保留地の場合 **○○○○土地区画
整理事業地内(保留地)(○街区△画地)**

申請位置	交野市私部○丁目○番△ (○街区 △地)		
事業の名称	○○○○○土地区画整理事業	敷地面積	○○○○○○㎡
建築物	新築 ・増築・改築	工作物	新設・増設・改設
用途及び棟数	専用住宅 1棟	種別	
構造及び階数	木造 2階	構造	
建築面積 延べ面積	80.00㎡ 160.00㎡	工事面積	(別添図参照) ㎡
土地の形質の変更		移転の容易でない物件の設置・たい積	
工種		名称	
概要	GL盛土 ㎡、 ㎡ 切土 ㎡、 ㎡	概要	重量 t、高さ m
工事予定期間	許可日より 平成 ○年 ×月 △日まで	連絡先 氏名 電話	(株)○○コンサルタント 担当者△△ (○○)○○○-○○○○
施行者受付欄	施行者印	市 受 付 欄	

6. 問合わせ先について

○交野市都市まちづくり部 都市まちづくり課
交野市私部一丁目1番1号
電話072(892)0121